

どんな箱に詰めたらいいかな？ 視点2

1. 単元名 九九を見なおそう（3年生 4月）

2. 改善の動機・意図

簡単な2桁×1桁の答えを考える時に、分配法則を利用して積を求める場面が多いが、数字の操作が前面に出てしまい、実感を持ってない児童もいた。そこで、12個入りのたこやきが4箱という場面を設定した。たこやきを箱に詰めるには、3×4のこともあれば2×6のように詰めることもある。多様な詰め方を出し合うことで、 $12 \times 4 = 48$ という式を多様な見方で見ることができ、数に対する豊かな感覚を育てる一助になると考えた。そのうえで、どんな数でも計算できる従来の方法を考えさせたい。

3. 授業の構想

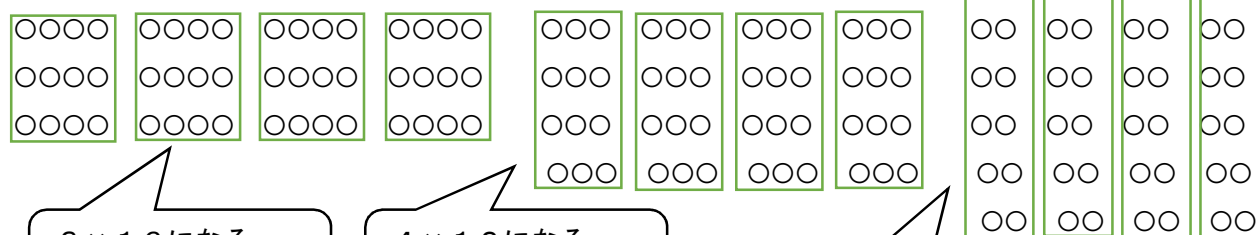
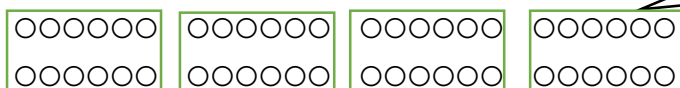
1パック12個入りのたこやきを売ります。
4箱買いたいというお客さんが来ました。
全部でいくつのたこやきを作ればいいですか。

- C1 12個のたこやきが4個だから、 $12 + 12 + 12 + 12$ で求められるね。
- T1 かけ算の式でも表せるかな。
- C2 かけ算にしたら、 12×4 になるけど、どうやって計算すればいいのかな。
- T2 図に書いて考えてみよう。みんなだったら、どうやってたこやきを売るかな？
- C3 たこやきが箱に入っているのを見たことがあるよ。
- C4 3個ずつ4列で箱に入れられるよ。 3×4 だ。
- C5 4個ずつ3列の箱にも入れられるよ。 4×3 だ。
- C6 6個ずつ2列の箱にも入れられるよ。 6×2 だ。
- T3 いろんな箱に入れてみて、4箱で何個になるか考えてみよう。

<どんな箱につめたら計算しやすいかな>

T4 4箱ならべて考えてみよう。

2×24になる。
計算しづらいな



3×16になる。
計算しづらいな

4×12になる。
計算しづらいな

6×8になる。
計算しやすい！

- C7 12×4 を 6×8 と考えたら計算しやすい！全部で48個だ。
- C8 2桁のかけ算でも、1桁×1桁になるように分けて考えたら計算できた！
- T5 3×4 の詰め方でも計算しやすい式にして考えることができるかな？
- C9 箱のならばかたを変えてみると・・・

